



板 碑

板碑とは、石を薄くして信仰神を祀ったものである。

この板碑には、弥陀三尊が刻まれており、中央に梵字キリク（阿弥陀如来）右にサ（観音菩薩）左にザグ（勢至菩薩）で、元徳三年九月と刻まれ「小塩山の神」として祀られている。

通常、山の神を崇めるのは大山祇命か或はその息女木花咲耶姫であるが、神佛を併せもつものとして珍しいとされている。

高さ三十九糎、巾二十七糎、厚さ三糎の暗緑色の硬度の高い石で、関東地方の産だと言われている。どんな経路で此処に祀られているかは不明である。

村 指 定 重要文化財

所 在 地 伊南村大字小塩

字丸山地内

管 理 者 小塩区

指 定 年 月 日 昭和57年8月31

日